


ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報						
組織名・所属	beniw合同会社					
役職	代表					
氏名	榎本 善晃	ふりがな	えのもと よしあき	生年	1977年	
連絡先住所	〒151-0064	東京都渋谷区上原1-2-1				
電話番号		メールアドレス	info■beniw.com (■を@に変えて下さい)			
2. 経歴・取組内容、取組分野等						
主な経歴・受賞歴	<p>早稲田大学高等学院、早稲田大学第二文学部(表現・芸術系専修)卒業 2009～2016年:「特定非営利活動法人 シブヤ大学」事務局長 2011～2016年:「恵比寿文化祭」プロジェクト・ファシリテーター 2011年～:「おいしい日本のワイン 三sun」オープン 2012年～:「ThinkCollege」立ち上げ 2013年～:「人に会いに行く旅をしよう。」立ち上げ 2014年～:「渋谷ズンチャカ！」プロジェクト・ファシリテーター 2018年～:「地域密着新聞ネットワーク」事務局長 2019年～:「一般社団法人 南伊豆編集室」理事 2019年～:「特定非営利活動法人 恵比寿わたくしみん組合(法人格取得中)」理事</p>					
主な取組内容、実績等	<p>ボランティアなど有志主体でのプロジェクトの立ち上げ～企画運営が”うまくいく”ように並走する「プロジェクト・ファシリテーション」と、 ばくっとした課題をいただいて、それを面白がってもらいやすい形で具体化する「プロジェクト・デザイン」とを、主に担っています。</p> <p>▼プロジェクト・ファシリテーション: 「シブヤ大学」では事務局長として、よりボランティアスタッフ個別に向き合える時間を増やせるように業務の効率化・システム化を図るとともに、企画経験のないスタッフでも授業がづくりできるように”補助線”設計を行いました→ https://note.mu/exnno/n/n7d7c634e6439 ”みんなでつくる”まちの音楽祭「渋谷ズンチャカ！」では、いわゆる音楽フェスのボランティアという当日運営のお手伝いを担うことが多い中、ボランティア自身が主体として企画立案から実現まで行えるよう”裏方”を担っています→ http://shibuya-scramble.tokyo/ss/detail.html?id=381</p> <p>▼プロジェクト・デザイン: ユネスコ「世界の記憶」に選ばれた多胡碑を地元の子も達に知ってほしいという課題に、“お勉強”じゃなくて”楽しかった記憶”をつくろうと多胡碑を活用したリアルRPG「タゴヒクエスト」を企画開発。恵比寿で働く14万人と住む2万人を繋げるよう、また働く人も恵比寿にもっとシティプライドを抱けるように「恵比寿わたくしみん組合」を立ち上げ、地方だけでなく、都市における”ローカル”のニュースタンド/ショーケースづくり。渋谷の真ん中で仕事帰りに学びの場をつくることをテーマに、西武渋谷店と共創した「ThinkCollege」(https://www.sogo-seibu.jp/shibuya/thinkcollege/)。再訪の動機は観光地じゃなくて”人”だ(観光地は次の観光地に行くだけ)と企画した「人に会いに行く旅をしよう。」(https://hito-tabi-fit2018.peatix.com/やhttp://hito-tabi.jpなど)。ほか</p>					
取組分野	◎	1	観光振興	◎	7	住民参加・協働
	○	2	産業振興	◎	8	イベント交流
		3	過疎地域・限界集落の振興		9	食品流通
	○	4	中心市街地活性化		10	環境
		5	まちづくり景観	○	11	NPO・ボランティア
	○	6	農林水産品の開発・ブランド化	○	12	その他(起業支援、人材育成)
3. 関連ホームページ						
	名称			アドレス		
	渋谷ズンチャカ!			https://shibuya-zunchaka.com/		
	南伊豆くらし図鑑			http://minamiizu.fun/		
	南伊豆新聞			http://minamiizu.news/		
	おいしい日本のワイン 三sun			http://3sunjp.net		

4. ふるさと財団での実績	
地域再生マネージャー	
地域再生セミナー講師	
環境整備型マネージャー	
初期対応型マネージャー	

5. 財団報告書	
名称	アドレス

6. 写真・ひとことPR	
	<p>< ひとことPR ></p> <p>"大きな主語"で消費するのも楽しいけれど、"小さな主語"で手探りでもいいから自分でやってみる・つくってみる。そんなことに貢献できればと考えています。</p> <p>さまざまなプロジェクトのファシリテーション(ワークショップ単体ではなく)を担ってきて、ぼくがやっていることは主に次の3つです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(踏み出せない人の)背中を押すこと ・(企画を置きにいってしまう人に)背伸びを促すこと ・(初期メンバーで固まりそうなときに)隙間を空けること <p>目指すは8割の「いいね！」よりも、1割の「熱狂」「没頭」です。誰かが本気で面白がっていることは、きっと絶対面白い。本気の素人は、やっつけのプロを越せる、と信じています。</p>